

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名	認知症対応型共同生活介護 グループホーム やまと			
開催日	平成 29年 9月 19日 (火) 14:00~15:00			
開催場所	グループホームやまと 地域交流室			
出席者	構成区分	人数	構成区分	人数
	利用者の代表	1名	地域包括支援センター	1名
	利用者の家族	1名	グループホームかりん	1名
	認知症の人と家族の会	1名		
事業所	グループホーム	1名		
出席者	事務局	2名		
欠席者	1名			

《 グループホーム 状況報告 》 (7/16~9/15)

基本目標	住み慣れた地域の中で、できることを共に喜びあい、愛あふれるグループホーム					
利用者の状況	入居者	18名 (定員: 18名)				
	年齢	75~96歳 (平均年齢: 86.11歳)				
	介護度別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	8名	5名	4名	0名	1名	1.9
入退居の状況	新規利用者	1名				
	退居者	1名				

《 主なご意見 》

- 米子市認知症高齢者等事前登録制度の活用を進めていってください。緊急時にすぐに対応をしてもらえます。
- 効果的な口腔ケアの実施をしてはどうでしょうか。
フレイルの予防にも口腔体操等、続ける事・習慣化する事が大切です。
- 災害時の避難方法・備蓄など再確認と共に、避難訓練をしておく必要があります。独居の方は高齢でもあり、『～に避難してください。』と放送があったとしても一人で避難する事が難しい。
- マップ作りをし、各地域で非常時の協力体制作りが必要ですが、ニューやまとは協力体制がまだ不十分です。地域性もあり温度差があります。マップ作りなどを実際に行っている地区が内容を伝えていく事で必要性を理解し、徐々に浸透していくでしょう。
- 近隣の方より防水シートをフェンスに干そうとした時に、汚いものを干さない様注意を受けた。洗濯物をフェンスに干すという行為が、住民の方には良く思えなかったのではないのでしょうか。住民の方は普通の民家と同じ認識では見ておられないのではないのでしょうか。ある意味では、それだけ注目されているという事ではないのでしょうか。